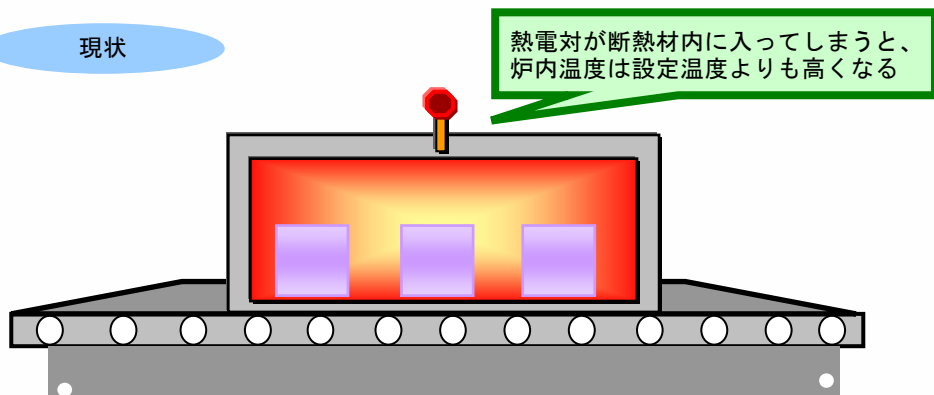


温度測定器は適正位置に取り付けましょう。

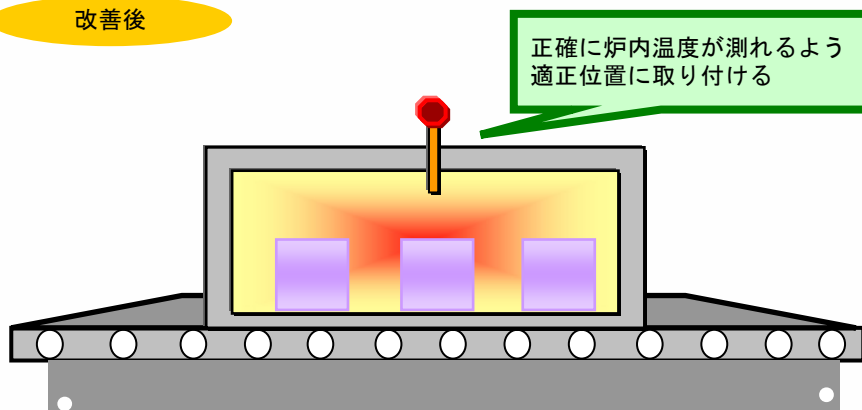
加熱炉等の温度測定器を適正位置に取り付けることにより、正確な炉内温度を維持し、ヒータ消費電力の削減を図ります。

対策例

現状



改善後



省エネ対策のポイント

- ・製品にあわせた温度管理（調整）を行うために、計測器の取付け位置や精度維持には十分注意が必要です。
- ・適正温度を管理することで、加熱炉からの熱の放散量が減少し、周囲の環境改善にも繋がります。
- ・加熱に時間を要する製品や大きな加熱出力が必要な製品など、必ずしも加熱炉出力を見直しできない場合があります。これらの諸条件を勘案し見直すようにしましょう。

参考

<加熱炉の有効な省エネ対策例>

○炉壁の断熱施工

- ・炉壁に断熱施工することにより、炉体表面からの熱損失を防ぐことができます

○搬入・搬出時間の短縮化

- ・バッチ式の加熱炉の場合、被加熱物を炉に搬入・搬出する際、炉の蓋が開放され大きな熱損失が発生するため、できるだけ時間の短縮化を行い、熱損失を防ぎます。